

発達障害児（者）支援に係る圏域別研修等事業（北部圏域）
障害のある人と社会をつなぐネットワーク支援に関する研修会

知的障がい・発達障がいのある人のための

トラブルシューター養成セミナー

基礎コース

◆日時：平成29年9月20日（水）

10:00～16:00（受付9:30～）

◆会場：名護市民会館 中ホール（定員200名）

◆対象：相談支援従事者、障害福祉サービス事業所職員、関係各課職員、
司法・矯正関係者、教育関係者、社会福祉協議会職員、その他支援者等

◆受講費：無料 ※事前申し込み必要 **申し込み×切：9月8日（金）**

◆申込方法：FAXもしくは、専用フォームにて送信ください。

<http://my.formman.com/t/W7oj/>



主催：沖縄県発達障がい者支援センター がじゅま～る

共催：NPO法人 PandA-J

北部圏域障害者自立支援連絡会議（療育・教育部会）

プログラム

※ 全プログラム修了者には「トラブルシューター基礎コース修了証」を発行いたします。

第1講義

「トラブルシューターとはなにか？」

PandA-Jでやってきたこと、今やっていること、これからやっていこうとしていること。そして、最近の動きからなぜ今取り組むべきなのかを考える。

10:10～

11:10

【講師】野澤 和弘氏（毎日新聞 論説委員、PandA-J 副代表）

第2講義

「トラブルになったときどうすればいいか ー司法の立場から」

「逮捕されてから起訴されるまでにやれること」「危機介入の方法」 ※刑事手続きなどの解説
【講師】中田 雅久氏（多摩の森総合法律事務所、第二東京弁護士会）

11:15～

12:15

**！ 当日は昼休憩（12:15～13:15）が短い
ため、昼食の持参を推奨します。**

第3講義

「なぜトラブルが起きるのか？ 予防するにはどうしたらいいか？」

なぜ彼らは問題行動や事件を起こすのか。トラブルを予防するために、地域で支える仕組みを考える。

13:15～

14:15

【講師】堀江 まゆみ氏（白梅学園大学 子ども学部 教授、PandA-J 代表）

第4講義

「シンポジウム ー知的障がい・発達障がい児・者への地域ネットワーク支援について考える」

【コーディネーター】
野澤 和弘氏（第1講義 講師）

14:25～

15:55

【シンポジスト】
堀江 まゆみ氏（第3講義 講師）
中田 雅久氏（第2講義 講師）
伊波 剛氏（地域生活支援事業所うむさばる 相談支援専門員）
平良 英世氏（社会福祉法人 名護学院 常務理事）

【留意事項】

- 定員の都合上、お申込みいただいても受講いただけない場合がございますので、予めご了承下さい。その際には、当センターよりご連絡差し上げます。また、直前でのキャンセルはご遠慮ください。
- 駐車場に限りがあります。乗り合わせまたは公共交通機関利用等のご協力をお願いします。
- 天候不良時（台風等）の開催状況につきましては、当センターホームページでご確認下さい。



問い合わせ先：沖縄県発達障がい者支援センター がじゅま～る

TEL：098-982-2113（平日9～17時） FAX：098-982-2114

HP：<http://www.okinawa-gajyumaru.jp/>

トラブルシューター（TS）とは

知的障害・発達障害のある人が障害特性から誤解されやすく、それによって問題行動や事件（金銭的トラブル、性的犯罪など）を起こしてしまうことがあります。障害を正しく理解し、彼らの抱える生きづらさに寄り添った支援をすることで「社会生活」を送ることが可能になります。「自尊心」を大切に「心豊かに生きる」を目標に支援を考え、司法・医療・行政・福祉・教育・地域などが連携・協力する仕組みを構築していく必要があります。

トラブルシューターはその仕組みの中の一人です。本人とともに解決（快結）したり未然に防いだりするための新たな人材となります。知的障害・発達障害のある人が心豊かに社会生活できるように是非ご協力ください。



講師紹介

* 堀江 まゆみ 氏（白梅学園大学 子ども学部 教授、PandA-J 代表）

通園施設等で心理相談にたずさわった後、1993年より白梅学園短期大学教員。1999年におきた施設暴力事件に関わり、裁判終了後、法人再建のために社会福祉法人理事長（東京・愛成会）となる。全日本をつなぐ育成会理事・権利擁護委員会委員（～1999年5月まで）。

権利擁護研究としては、厚生労働科学研究「地域社会における障害のある人のためのセーフティネット構築およびセルフアドボカシー支援」（主任研究者）、厚生労働省「発達障害者支援のための地域啓発プログラムの開発研究」（主任研究者）。

現在は、権利擁護・成年後見活動のための「NPO法人 PandA-J」代表を基盤に、地域の親の会活動（育成会、自閉症協会）や弁護士、新聞記者たちと権利擁護活動を研究し実践している。

* 野澤 和弘 氏（毎日新聞 論説委員、PandA-J 副代表）

1983年毎日新聞入社、津支局、中部報道部（名古屋）を経て1992年に東京社会部へ。いじめ、引きこもり、薬害エイズ、児童虐待、障害者虐待などに取り組む。社会部副部長、夕刊編集部長などを経て2009年から論説委員（社会保障担当）。

社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者政策委員会委員、植草学園大学客員教授、東京大学非常勤講師など。主な著書に「あの夜、君が泣いたわけ」（中央法規）、「条例のある街」（ぶどう社）、「廃墟の中の希望」、「なぜ人は虐待するのか」（Sプランニング）、「わかりやすさの本質」（NHK出版）、「障害者のリアル×東大生のリアル」（ぶどう社、編集）。

* 中田 雅久 氏（多摩の森綜合法律事務所、第二東京弁護士会所属、東京 TS ネット理事）

2006年弁護士登録。法テラス常勤弁護士等を経て、現在、多摩の森綜合法律事務所を共同経営。刑事事件・少年事件、DV・離婚等男女や家族のトラブル、債務整理や生活保護申請同行を担当する他、依存症治療や障がい者支援のNPO等の法律顧問を務め、生活課題を抱えるクライアントと向き合っている。

現在、刑事弁護委員会委員長、両性の平等に関する委員会委員、貧困問題対策PT委員（以上、第二東京弁護士会多摩支部）、八王子医療刑務所視察委員会委員長、立川市自立支援協議会委員、一般社団法人東京TSネット理事、東京経済大学現代法学部非常勤講師等。